

- 2、3 面 令和 8、9 年度 日造協 各委員長・部会長のごあいさつ
3 面 【学会の目・眼・芽】明治神宮内苑から考える造園学の未来
(公社) 日本造園学会理事・東京農業大学教授 栗野 隆
4 面 【ふるさと自慢】 フルーツ王国の裏側に隠れた「愛しき紀の川市」
和歌山県支部 小嶋 寿国 (紀北造園土木(株))
【緑滴】私のアオハル 長崎県支部 橋本 玲子 (関アートグリーン緑樹苑)



©Expo 2027

令和 8 年千景豪雨など、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様と被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

令和 9 年度 国交省都市局関係

概算要求 6,046 億円に

国土交通省の令和 9 年度予算概算要求は、国費総額 7 兆 6,761 億円 (対前年度比 1.38 倍)。都市局関係では事業費 6,046 億円 (1.81 倍)、国費 2,703 億円 (2.08 倍) で、国営公園等が事業費 474 億円 (1.35 倍)、国費 455 億円 (1.40 倍)、市街地整備が事業費 5,416 億円 (1.85 倍)、国費 2,123 億円 (2.25 倍) となった。

令和 9 年度都市局概算要求の基本方針は、「令和の都市リノベーションで、日本の生活空間を、より豊かに」するため、地域資源を活かしたまちづくり、まちづくり GXなどを柱に、復興まちづくり、国土強靱化に向けた事前復興・防災・減災まちづくりを推進。これらにかかわる取り組みとして、まちづくり DX、国際連携・海外展開を図るとともに、横浜グリーンエキスポの円滑な運営と成果の最大化に取り組む。

まちづくり GXでは、地球的・国家的規模の課題である①気候変動への緩和策・適応策(温室効果ガス排出量削減、暑熱対策等)や②生物多様性の確保(生物の生息・生育環境の確保等)、人々のライフスタイルの変化を受けた③ Well-beingの向上(健康の増進、良好な子育て環境の確保等)といった社会的要請に対応するため、環境に優しい都市構造への変革、都市におけるエネルギーの面的利用の推進、都市緑地の多様な機能の発揮を図る取り組みを進めるほか、猛暑の中でも安全・快適に暮らせる都市環境づくりを推進する。

緑とオープンスペースの確保として、

都市公園の樹木の安全管理の推進



公園樹木の倒木事例 点検の結果、変状・異常があった樹木に対しては診断を実施

都市公園の整備を含むグリーンインフラの社会実装、緑地の保全や緑化の推進、民都機構による金融支援やサステナブルファイナンスを活用した民間事業者等による良質な緑地確保の後押しを進め、CO2 吸収、生物の生息・生育空間の確保、健康増進等を推進。猛暑の中でも安全・快適に暮らせる都市環境として、まちなかでのグリーンインフラの社会実装、クールスポットの創出に係る先進的な取り組み等を支援し、ヒートアイランド対策を推進する。

復興まちづくり、国土強靱化に向けた事前復興・防災・減災まちづくりでは、公園施設の老朽化対策として、近年、都市公園において倒木等による事故が相次いでいる状況を踏まえ、都市公園の樹木の安全管理に対する支援措置を通じて、誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備等を推進する。

登録造園基幹技能者講習

9 月 1 日から受講申し込み開始

登録造園基幹技能者講習は、日造協と造園連の 2 団体が登録講習機関として共同実施し、講習を修了した登録造園基幹技能者は、経営事項審査での加点評価、「総合評価落札方式」での評価優遇、元請企業の「優良技能者認定制度」などに活用され、建設キャリアアップシステムでは、能力評価基準の最高位(レベル 4)要件の資格として位置づけられています。

講習は、2020 年度に受講資格要件を見直し、「1 級造園施工管理技士」でも受講できるようになりました。

建設工事の品質確保や安全管理などに社会的な関心が寄せられ、登録造園基幹技能者への期待が高まっています。この機会にぜひ受講してください。

※詳しくは日造協のホームページ(<https://www.jalc.or.jp/training/kikanginou/>)をご覧ください。

樹林

(一社) 日本造園建設業協会理事
むつみ造園土木(株) 代表取締役 佐々木創太



競争から共創へ phase 2

7 月 28 日に発生した熊本地震において、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表します。また、今なお続く余震の中で生活されている、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。夏場特有の長引く災害関連二次被害が、被災者や関係者にとって深刻な被害となり得ますので、くれぐれも無理をせず体調に留意され、日常を過ごせますことを切に願っております。



2022 年度より本協会理事を拝命し、同年 10 月号樹林に寄稿してから約 4 年が経過しようとしております。このたび寄稿を依頼されたことを機に、前回の記事に対するフォローアップ、今までの日造協活動を通じて感じたことを整理し、テーマである『競争から共創へ』の次のフェーズとして進めて参りたいと考えております。

教育機関と連携した人材育成

インターンシップや職場体験が、キャリア教育本来の目的に至っていない現状であり、教育カリキュラムの組立に関わることが、小学校学習指導要領主旨に繋がり、就労に関する成果にも連動すると考えられます。就労に繋がるキャリア教育の充実のため、文部科学省と国土交通省の連携を働きかける活動の実施。

造園インダストリー 5.0 確立に向けて

造園業は小規模で細部に至る作業が主であり、特に過疎化の進む地方においては、事業継承問題と同様に最重要課題と言えます。建設ディレクター育成に関する取り組みや VR 技術を活用した安全管理活動の普及、技能継承への活用など、助成金申請のハードルが低く、金額も少額対象で結構なので、気軽に取り組めるきっかけとして、日造協が主体になり造

園独自の技術や人材などへの支援、補助金制度設立などの取り組み実現。気候変動による災害対応について

異常気象による災害が全国各地で多発しております。防災の観点より過去の災害事例をもとに、何十年に一度の規模を想定した過大と思えるような復旧計画が実施されております。

市街地と市外地、住宅地と農地・原野・遊休地を活用した遊水地を取り入れた河川計画など、グリーンインフラを軸にその場所に応じた防災と減災(いなしの智慧)を考慮した災害計画の推進を造園業界(産官学)から発信することが、持続可能な将来の国土保全計画になり得ると考えます。日本造園建設業協会が主体となった取り組みの実現。

議論する日造協再構築に向けて

日造協活動の活性化は、委員会活動の活性化にあると思います。委員会は部会の構成で成り立っており、本来の部会活動は日造協事業計画立案において、日本全国各地の具体的な課題や事案を反映することであると考えます。

委員会・部会構成、部会開催頻度・方法(対面・オンライン)、構成員の選定基準、委員会との連動など、委員会と部会の運営手法を見直して、本部・総支部主体の運営に支部がしっかり関わり、日造協が活性化するきっかけにすべきと考えます。新体制の組織運営に期待しております。



限られた字数での表現のため、スキルなく拙文となっている部分が多々ありますが、日造協活動を通じて事前に上程している内容も含まれておりますので、事務局・役員含めた関係者皆様のご尽力何卒宜しくお願いいたします。

全国労働衛生週間

本週間 10/1~10/7
準備期間 9/1~9/30

全国労働衛生週間は、働く人の健康の確保・増進を図り、快適に働くことができる職場づくりに取り組む週間で、昭和 25 年に第 1 回が実施されて以来、今年で第 77 回を迎え 10 月 1 日~7 日を本週間、9 月 1 日~30 日を準備期間に実施されます。

今年は、「ひとりひとりが貴重な人

材 心も体も健やかに みんな生き生き健康職場」をスローガンに、労働衛生意識の高揚を図り、的確な労働衛生管理はもとより、女性の健康への対応、メンタルヘルス対策、治療と仕事の両立支援、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくり等の総合的な推進を図ることとしています。

【受講資格】以下のすべての条件を満たすこと。

① 1 級造園技士または 1 級造園施工管理技士の資格を有すること。

② 造園工事業に関し 10 年以上の実務経験を有すること。

③ 職長経験が 3 年以上※であること。

(※職長教育修了証の写しを添付)

【申込期間】2026 年 9 月 1 日~ 各会場の開催日の 2 週間前まで(消印有効)

【受講料】44,000 円(税込)

【会場】北海道・東京・大阪・福岡

令和8・9年度 日造協 各委員長・部会長のあいさつ

総務委員会



委員長 小川 巧

新任の小川です。総務委員会は4つの所掌事務の具体的な調査・検討に取り組む4部会を設け、協会活動を根幹的に支える安定的な財政基盤の確保及び、



財政・運営部会

部会長 大柴 信吾

協会活動を支える財政と運営体制の整備・充実に取り組みます。



財政基盤強化部会

部会長 持田 正樹

不透明な社会情勢の中、将来に渡り安定した日造協の財政基盤を維持する



経営環境改善部会

部会長 小川 巧

緑地空間や公園に期待される役割が多様化しているなか、造園建設業の



広報活動部会

部会長 成家 岳

前期の広報活動部会では全国造園フェスティバルの新しいキャッチコ

組織運営の効率化等の対策に向けて活動を行っています。今年度は、第5次財政・運営中期計画の検討や準備等を含め、協会運営の検討が大きな役割となっています。皆さまの知恵と工夫をご提供いただきますよう、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

分かりやすく透明性の高い運営を進め、財政・運営中期計画の進捗も踏まえながら、会員の皆様のご協力のもと、持続可能で健全な財政・運営の確立を図ります。

ためには何より会員数の確保と拡大が基礎となります。

引続き会員に役立つ具体策を打ち出し、協会の活力を引き出すための活動をしてまいります。

さらなる価値向上と魅力度向上を図り、社会的地位の向上を目指します。社会資本整備に貢献し、造園領域の拡大を図ることで、次世代が希望を持てる業界を目指します。

ピーとキャラクターを作成しました。今期は新たに東北総支部から部会員を迎えてGREEN×EXPO 2027に注力しつつ、協会員の皆様に有用な情報発信を行ってまいります。

事業委員会



委員長 正本 大

通常総会で引き続き事業委員長を拝命いたしました正本です。事業委員会の中には、人材育成部会、全国造園デザインコンクール等推進部会、要望・提言活動部会、事業・企画部会の4部会で構成されています。また、全国地



全国造園デザインコンクール等推進部会

部会長 山田 通明

当部会は①全国造園デザインコンクール実施計画の立案、②造園教育関



人材育成部会

部会長 森川 昌紀

会員企業にとって必要な研修・教育を企画立案します ①地域リーダーズの活



地域リーダーズ

総リーダー 小林 大祐

今期より新任5名と再任6名の計11名体制で地域リーダーズ活動をさ



要望・提言活動部会

部会長 佐藤 正幸

新部会長の佐藤です。当部会が継続して取り組むべき重点要望三項は①担い手

域リーダーズ活動の所管ともなっています。いずれの部会の活動も、全国より情報を集め共有していくことが求められています。その延長に会員企業の発展に寄与するものになるよう努めてまいります。GREEN×EXPO 2027を迎える期間での任期となりますが、2年間どうぞよろしくお願いいたします。

連機関との連携強化を担っています。高校の先生や生徒との情報交換を積極的に行い、造園に触れる機会を広げ、未来の担い手育成を推進してまいります。

動支援を行う ②造園の経営力向上に役立つ情報を提供 ③造園施工管理技術検定の日造協独自の受験対策講習 ④造園業に特化した職長・安全衛生責任者教育の講師を派遣 ⑤造園CPD単位取得促進

させていただきます。総支部・支部との情報交換や交流を通して、自企業や地域の発展に貢献できるように取り組んでまいります。

3法（建設業法、品確法、入札契約法）の運用に対する対応②持続的な事業予算の確保・拡大③造園力の発揮です。情報を周知共有し効果的な要望、提言活動を達成できるように取り組んでまいります。

資格制度委員会



委員長 荻野 淳司

資格制度委員会は、3部会において各認定資格の実施計画、改善を行うとともに、時代に合った技術情報を収集し、現場で役立つ資格になるよう努めます。



緑地樹木・街路樹剪定士部会

部会長 中村 秀樹

緑地樹木・街路樹剪定士部会は剪定士制度を運営する部会であるため、



植栽基盤診断士部会

部会長 高石 正弘

植物にとって大切なのは、土壌環境を整えること。その役割を担うのが、「植栽基盤診断士」です。



登録造園基幹技能者部会

部会長 齊藤 典之

登録造園基幹技能者部会では、日本造園組合連合会と連携しながら制度

緑地樹木剪定士は、前年度から引き続き国土交通省登録資格の準備を進めます。また、今後は植栽基盤診断士も同様に登録資格を目指すとともに、日造協の認定資格が、実務において積極的に活用されるよう引き続き外部への普及・啓発活動に力を入れていきたいと考えています。

資格がより活用されるべく部会活動を展開していくとともに、資格者増の活動にも取り組んでいきます。

当部会では、「植栽基盤診断士」がますます造園としての技術的信頼度を高め仕事の領域拡大に繋がっていくよう、また次年度以降もスムーズな運営が行えるよう、他の資格制度部会と連携しながら制度の普及・改善・運営効率化に努めて参ります。

の普及・改善を進めます。また、講習が受講しやすい環境を協議・検討し、資格取得者の拡大に努めてまいります。

国際委員会



委員長 山田 拓広

今年度はいよいよ2027年国際園芸博覧会が開催されます。

気候変動への対応や、そのためのグリーンインフラの推進など、我々造園業界に期待される役割は世界的にも一層高まっています。

2027年国際園芸博覧会特別委員会



委員長 鈴木 義人

故田丸敬三前委員長の後を引き継ぎ就任しました鈴木で御座います。

「GREEN×EXPO 2027」の開催も来年の3月に迫り、6月の日造協の総会でもトウクントウクの登場や国際園芸博覧会のグッズの販売など機運醸

本博覧会は、日本の都市緑化技術や庭園文化を世界へ発信し、海外との技術交流や情報交換を行う絶好の機会です。

当委員会はこれまでの活動を踏まえ、会員企業と業界の国際的な発展、人と自然が共生した持続可能な未来が実現するよう努めてまいります。

成に励んでまいりました。この博覧会は「大阪花博」以来のA1博覧会で、当協会の会員企業も多く出展参加します。「2025年日本国際博覧会」に負けぬよう成功に導けるように、関係各機関、会員皆様のご協力をいただきまして尽力してまいります。

建設事業主のみなさまへ

建設現場の人材確保をもっと確かに。

民間工事がメインでも加入できます

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

KENTAIKYO

建設業退職金共済制度は建設業界のために、国がつくった退職金制度です。

- ① 掛金は損金扱い! 新規加入で一部免除
- ② 電子ポイント方式なら手続きもカンタン!
- ③ 掛金は1日320円!

詳しい情報はこちら

建退共 🔍

<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>



建退共

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL.03-6731-2866

技術委員会

委員長 伊藤 幸男

技術委員会は、造園技術・技能の職能開発教材の作成普及、デジタルツールを含む造園技術情報の共有化、安全対策管理広報、技能五輪等への協力、日本造園学会など他団体との連携による技術・技能

技術・技能・調査部会

部会長 佐藤 英介

“ものの善し悪しが判断できる眼を培う”人材育成研修を毎年実施しています

造園技術フォーラム部会

部会長 大場 淳一

造園の技術・技能に関する情報を共有し新たな工法などを開発するため、造園技術

技能五輪等部会

部会長 卯之原 昇

当部会は、今期開催される技能五輪全国大会（26・27年愛知）、若年者ものづくり

安全部会

部会長 中島 祥之

事業を営む中で労働者の心とからだの健康保持の職場環境づくりが最優先です。安全

の向上に向けての活動など、造園業の発展に関わる多岐にわたった活動を行っております。昨今は、グリーンインフラ関係の情報収集発信など、多くの会員の方々の関心の高い課題にも取り組んでおります。今後も会員各社のご意見を聞きながら取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

が「竹垣技法編」を加え全6編となりました。WEBで手軽に学べますので若手社員研修に是非ご活用ください。また「造園の仕事に役立つアイデアリンク集」も発信していますので活用ください。

フォーラムを毎年開催しています。今年度は9月から開催される京都フェアに併せて10月に開催しますので、ぜひご参加ください。また造園のDX推進のため情報収集もしてまいります。皆さまのご協力をお願いいたします。

競技大会（26年富山、27年島根）、技能グランプリ（27年千葉）に、造園連と共に会員の参加や競技の運営に協力しております。28年には愛知で国際大会が開催されますので、会員の皆様もぜひ応援してください。

に関する法律改正、作業環境の変化等、現場作業における最新の情報を分かりやすく発信してまいります。昨年策定されました「樹上安全作業マニュアル」をすべての現場で共有し安全な現場づくりに取り組んでまいります。

造園領域発展戦略委員会

委員長 古積 昇

造園領域発展戦略委員会では、前任の故田丸委員長が築かれた活動と意思を受け継ぎ、担い手の育成・確保や働き方の改善、多様な人材の活躍、会員の維持・拡大など、造

戦略立案部会

部会長 藤巻 慎司

当部会では、今後の造園界の将来構想のための戦略的活動展開の企画をはじめ、会員の皆様

担い手育成・確保推進部会

部会長 水庭 博

①担い手育成・確保行動計画の推進
②働き方改革の企画・

女性活躍推進部会

部会長 酒井 一江

当部会は3名の新人が参加し、16名の大所帯です。早速、新たな活動テ

会員拡大推進部会

部会長 松戸 克浩

造園建設業の継続的な発展・会員企業の事業活動の拡大に向け、日造協

園界が抱える課題に4つの部会がそれぞれの立場から取り組んでまいります。各部会の活動や意見をつなぎ、全国の会員の皆様の声にも耳を傾けながら、議論だけで終わらず、一つでも具体的な形にし、造園の新たな可能性と未来につなげていける委員会を目指してまいります。

からご提案いただいた企画の推進等に取り組んで参ります。また、2027年国際園芸博覧会の出展について、これまでの議論や準備が実を結び、いよいよその成果が形となります。会員の皆様ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

立案・推進

造園業界への入職促進のための活動として、インターンシップについての情報収集や働き方改革に関する情報提供などを行ってまいります。

マを検討予定です。

また入職者へのアピールとして各支部から出前講座の要請をいただいています。造園の仕事をご紹介する機会にご活用ください。

活動を継続的に展開するために、本部・総支部・支部が力を合わせて会員拡大推進に取り組めます。

引き続き会員拡大へのご協力をお願いいたします。

学会の目・眼・芽 第153回

明治神宮内苑から考える造園学の未来

（公社）日本造園学会理事・東京農業大学教授 栗野 隆

大正9年に完成した明治神宮内苑は造園学の原点である。日本造園学会創設100年を昨年に経験した私たちは明治神宮内苑から何を学ばなければならないのだろうか。



東京帝国大学では大正8年頃に林学の本多静六と農学の原熙により「造園学」が開講された。この開講時期は、彼らがともに明治神宮造営局参与という大きな責任を負う立場であり、林苑整備を進めていた時期と符合する。すなわち神宮内苑が造園の理論と実践が交差し、造園学が胎動した揺籃の地であったことに他ならない。

神宮造営には帝大出身の青年技術者が活躍した。林学系では本郷高德、上原敬二、田村剛ら、農学系には折下吉延、大屋霊城、田坂美徳らである。彼らの顕著な業績は永遠の杜づくり

と雄大な風景式園地を実現した点だ。

大隈重信は最初林苑に森厳な杉林を求めたが、本郷や上原はこの地に杉は育たないと確信し、遷移を基本とした天然更新によって造成時、50年後、100年後、150年後の4段階で常緑広葉樹林へと導く画期的方法を採用した。

折下らは宝物殿一帯の精妙な土の鋤取りを進め、心地よくカーブする苑路と優美な起伏を備えた大芝生を造成し、近代風致造園の好模範となる壮大なヴィスタを創出した。

これら若き造園の先達の挑戦は100年を経た現在どのように受け継がれているのか、その意義を私たちは改めて検証し、次代へ継承してゆかねばならない。



彼らのその後の歩みも注目に値す

る。

折下吉延は震災復興公園の整備と満州の都市計画で活躍し、大屋霊城は「花苑都市構想」の名のもとに本格的な都市デザインを造園家として推進した嚆矢となった。

田村剛は国立公園の調査・指定をすすめる、上原敬二は農大造園前身の東京高等造園学校と造園学会を創設し、教育・著述・実務の各方面で活躍した。

神宮内苑に従事した技術者たちは、その後の都市公園、都市計画、国立公園など多様な領域で日本の造園界をリードした。言い換えれば、神宮内苑は造園の学術・技術のルーツのみならず、造園家という職能形成の出発点でもあったのだ。



100年前、造園の先達はいかなる

造園学原論・造園史、庭園考古学、文化財庭園保存修復、伝承造園技術を専門とする。造園史家、修復造園家として先人の歩んだ創作の道を主に歴史的庭園から解明しつつ、本質的価値の立証と次世代に継承するための保存修復の実践に取り組む。日本造園学会賞（研究論文部門）、日本イコモス奨励賞受賞。



志と熱意をもって神宮内苑の造営に挑み、その理想を実現したのか。そして、その志を次の100年へいかに継承してゆくのか。

明治神宮内苑を通して、造園・ランドスケープの本質的価値を問い直し、その志を未来へ継承してゆくことこそ、今を生きる私たち造園人の使命ではないだろうか。



明治神宮内苑造成時における樹木の立曳きの様子
出典：上原敬二『樹木根廻運搬並移植法』



乗用×ラジコン式 草刈機

NEW

ラジコンハンマナイフモア

ZHM1550RR-RC

ダブルアール アールシー

ハンドガイドとラジコン操作を切り替えて使える「1台2役」。作業効率の向上と安全性を両立。広大な河川敷やスキー場等の維持管理で力を発揮。



送信機

動画公開中!



ZHM1550RR-RCは、ZHM1550RR本体とZHM1550RR用RC KITで構成されています。

※RC KIT単体での販売は行っておりません。



ラジコンモード
傾斜地での
安全を確保!

搭乗作業
作業効率がよく、
体もラク!

ハスクバーナ・ゼノア株式会社 〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9

お問い合わせ先

東北支店 050-3354-7002 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県

中部支店 050-3354-7003 富山県・石川県・福井県・岐阜県・愛知県・三重県・静岡県

大阪支店 050-3354-7005

西部支店 050-3354-7009

九州支店 050-3354-7012

滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県

福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

本社・左記エリア以外



0570-550933

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日除く)

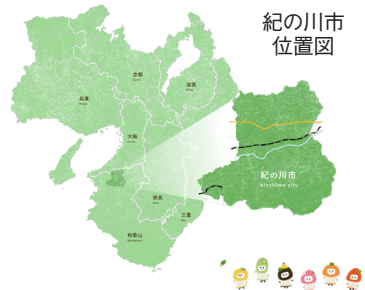
info.hv@husqvarna.jp

ゼノアHP www.zenoah.com/jp/

フルーツ王国の裏側に隠れた「愛しき紀の川市」

和歌山県紀の川市といえば、泣く子も黙るフルーツ王国。ですが、キラキラした主役の影には「そこを推すか!？」という愛すべき隠れた自慢が眠っています。

まずは、貴志駅。世界中をメロメロにした「たま駅長」(猫の駅長)のスピリット。駅舎は「猫の顔」で、走る電車が猫づくし。市外の人に「何があるの?」と聞かれたら、市民は自信たっぷりに「何もないけど、猫に給料払って経済回してるから」と言い張ります。



紀の川市位置図



たま駅長がいる貴志駅④ 粉河寺の枯山水⑤

次に、西国第三番札所である名刹「粉河寺」には、日本庭園の概念を揺るがす枯山水があります。枯山水といえば「静寂の美」を想像しますが、ここは巨石をこれでもかと積み上げた、アグレッシブな仕様。静寂ではなく「石の圧が強すぎ!」という、圧倒的なパワー系枯山水が拝めます。



華岡青洲 肖像

龍門山パラグライダー④
めっけもん広場⑤
紀の川ぶるぶる娘⑥

神力を誇ります。

極めつけは、日本屈指の売上を誇る直売所「めっけもん広場」。夏の桃シーズンは、県外から美味い桃を求めるハンター達が開店と同時に雪崩込み毎日が「桃のブラックフライデー」、午前中で良い桃が絶滅する桃を求めた戦場へと変貌します。

フルーツでビタミンを補給し、猫に癒やされ、粉河寺の石の圧に圧倒され、青洲の苦勞に思いを馳せ、空飛ぶ人をスルーする——。紀の川市は、知れば知るほど「濃い」魅力が押し寄せる、隠れたポテンシャルの塊の地なのです!

和歌山県支部 小嶋 寿国
(紀北造園土木株)

新入会員のご紹介

社名 / 住所 ☎	代表者 / FAX
(株)春日緑化 大分県大分市八幡 1754-1 ☎097-534-5453 FAX 097-534-5457	朝見 高樹

ようこそ日造協へ!

社名 / 住所 ☎	代表者 / FAX
(有)造園土木植清園 大阪府守口市八島町 12-3 ☎06-6991-2813 FAX 06-6992-9527	大塚 清嗣

日造協賛助会員の紹介 (株)フィールディックス

自然と向き合った100年、いま次の100年へ

弊社は、多くの公園・スポーツ施設で従来解決が難しかった排水問題に対し、半永久的な改善を可能とする独自の技術を開発。これまでに文部科学省インフラメンテナンス技術優秀賞、四国産業技術センター技術優秀賞、東京都新技術、国土交通省新技術、高知県地場産業賞など、多くの評価をいただいています。自治体

や環境省、Jリーグ関連施設、民間施設など、人工芝を含む多数の施工実績があります。ぜひ一度ご相談ください。

(株)フィールディックス
〒780-8040 高知県高知市神田 1503-9
電話 088-856-6251 FAX 088-856-6250
E-mail : info@fieldex.co.jp
URL : http://fieldex.co.jp
担当 國本 謙 (携帯 080-5662-6438)

芝生・グラウンド・人工芝の排水解決に。

新技術①

フラッシングコアによる副側溝工法 【既設用】

新技術②

フラッシングコア+新設用アーチ型基盤+副側溝工法 【新設用】

・都市緑化功労者祝賀会
・「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会

8/1-2 若年者ものづくり競技大会に競技委員、補佐員として協力
8/2 今後の技能五輪等への対応について審議、若年者ものづくり競技大会(富山)を視察
●安全部会
8/25 「造園安全衛生管理の手引き」の改訂、造園用ワークポジショニング作業の普及について審議

委員会等の活動

- 広報活動部会
8/4 日造協ニュース8月号の内容確認、2026年10月までの記事構成、新春号について審議
- 技能五輪等部会

編集後記 日本内外で異常気象や温暖化による自然災害のニュースが頻発しています。レベル5の特別警報が続いたり、熱波やネパールの氷河崩落を見ると今後何が起こるのか…。防災・減災・温暖化を防ぐ取組みが至上命題であると感じずにはいられません。



緑滴

私のアオハル

(株)アートグリーン緑植苑
長崎県支部
橋本 玲子



娘が高校で長崎県内唯一のチアリーディング部に所属していることもあり、最近高校野球を観る機会が増えました。

選手たちが最後まで諦めずに白球を追いかける姿や、仲間を信じて全力でプレーする姿、ベンチには入れずとも応援席で声を枯らして声援を送る姿に、毎試合多くの感動と元気もらっています。

そのひたむきな姿勢は、仕事にも通ずるものがあり、「私も頑張ろう!」と前向きな気持ちになります。

休日には、デイキャンプを楽しみ、自然の中でゆっくりと過ごしています。

木々の緑や風の心地よさ、波の音、鳥の声、自然に触れる時間は、地球の偉大さを感じられ、心穏やかに、身体もリフレッシュできる大切なひとときです。

特に、外で食べる飾り気のないホットサンドやコーヒーが絶品!

まだまだ知らない場所や、時間によって変わる景色、四季を感じられると思うと、年中ワクワクしています。



高校生の娘のチアと野球観戦



デイキャンプでホットサンド



さまざまな景色

緑の仕事に携わる者として、自然の恵みに感謝しながら、そして、家族やスタッフ、沢山の出会いに感謝しながら、これからも日々の仕事に真摯に向き合い、一つ一つの経験を大切に積み重ねていきたいと思っています。

事務局の動き

- 【9月】
- 1(火) 広報活動部会
 - 2(水) 国際委員会
・城東職業訓練センター出前講座
 - 3(木) 運営会議
 - 8(火) 富山県立中央農業高校出前講座
 - 9(水) 富山県立小矢部園芸高校出前講座
 - 10(木) 街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会(試験部会)
 - 13(日) 植栽基盤診断士認定試験(学科試験)
・AIPH 定例総会(国際委員会)~17(木)
 - 15(火) 街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会
 - 17(木) 第43回 全国都市緑化フェア in 京都丹波 (9/18(金)~11/8(日))
 - 18(金) 第43回 全国都市緑化フェア in 京都丹波 開会式
・技術委員会(造園技術フォーラム部会)
 - 22(火) 技能五輪国際大会~27(日)
 - 24(木) 植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)

- 25(金) 北陸地方整備局企画部との意見交換会
- 29(火) 総支部・支部交流会(東北)
・植栽基盤診断士認定委員会

- 【10月】
- 2(金) 事業委員会企画部会
 - 5(月) 中部地方整備局建設部との意見交換会
 - 6(火) 広報活動部会
 - 8(木) 運営会議
・造園技術フォーラム
 - 9(金) 全国総支部長・支部長・事務局等合同会議
・花と緑のつどい
 - ・全国都市緑化フェア in 京都丹波 会場視察
 - 15(木) 全国造園デザインコンクール審査会(園芸博覧会プラン賞)
 - 16(金) 事業委員会(全国)
 - 19(月) 造園領域発展戦略委員会(全国)
 - 22(木) 総支部・支部交流会(関東・甲信)
 - 29(木) 登録造園基幹技能者講習(大阪)~30(日)
 - 30(金) 運営会議